

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																						
東京ダンス＆アクターズ専門学校	平成17年10月1日	山本敬史	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目24番6号 (電話) 03-3688-2205																						
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																						
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																						
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																					
文化・教養	文化・教養専門課程	ダンス＆アクターズ科 (昼間部一)	平成28年文部科学省 告示第19号																						
学科の目的	エンターテイメント業界に必要な音楽的知識及び、パフォーマンス力を構築し、メディア、舞台、映画、などエンターテイメント業界の即戦力となる人材育成を目指す。																								
認定年月日	平成28年2月19日																								
修業年限	昼夜 2 年 単位	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数 114	講義 1	演習 574	実習 96 実験 実技																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
240人	220人	11人	7人	58人	65人																				
学期制度	■1学期(前期):4月1日～9月30日 ■2学期(後期):10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験等)によって評価される。本校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも評価点数により、100～90をA、89～80をB、79～70をC、69～60をD、59～0をF(不合格)として成績が通知される。																				
長期休み	■春 季:3月14日～4月7日 ■夏 季:7月21日～8月31日 ■冬 季:12月23日～1月5日			卒業・進級 条件	学期ごとに試験を行い、また最終学年の終わりには、卒業試験を行つ。科目の成績評価及び進級・卒業判定会議の審議に基づき、進級、課程修了の認定を行う。ただし、演習、実習については演習、実習の成績によって修了を認定することができる。																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任制を導入し、学期ごとの個人面談や進路相談等を行つて いる。また授業外で基礎スキル習得のサポートを行う補習授 業を展開している。また意欲のある学生向けの特別課題も設 定し、より上位を目指せる環境も構築している。			課外活動	■課外活動の種類 学園祭等の実行委員会  ■サークル活動: 無																				
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 就職を目指す学科ではない為、該当なし。  ■就職指導内容 希望者へはキャリアセンターによる進路相談の他、履歴書添 削、ポートフォリオ指導、面接対策等を実施している。  ■卒業者数 : 87 人 ■就職希望者数 : 6 人 ■就職者数 : 6 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 7 % ■その他 ・進学者数:1人 ・その他 :80人 (平成 30 年度卒業者に関する 平成31年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報)  <table border="1"><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>なし</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他・民間検定等) ■自由記述欄	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	なし															
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
なし																									
中途退学 の現状	■中途退学者 18 名 ■中退率 9 % 平成30年4月1日時点において、在学者190名。(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者172名。(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気・治療、学生生活不適合、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による個人面談の他、保護者を含めた第三者面談や学生相談センターによるカウンセリング等も実施している。																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入  ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																								
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public_info/index.html">https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public_info/index.html</a>																								

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをおきます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留学生」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聽講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

音楽・エンターテインメント業界において、人に感動や喜びを与える人材としての即戦力が身に付けられるよう、職業人教育を実施していくために、業界が必要とする人材を業界と共に育成する、産学協同教育システムのもと、すべての教育課程を編成している。

具体的には主に次の3つを基本方針としている。

1.専任教員と業界で現役として活動している兼任教員による講師会議にて、現在の在学生の状況を踏まえ、業界に求められる即戦力を育成するための方策を検討、授業内容の改善を図る。

2.普段は授業等で学生と関わらない、第3者として助言を受けることで、学生の現状を切り離した業界からの要望を把握するため、教育課程編成委員会を設置。業界動向や、業界の方の意見、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行う。

3.学校主催の合同企業説明会への参加企業、業界研修の受け入れ先企業、授業への企業課題の提供をいただいている企業から情報提供を得て、今後求められる即戦力を把握。授業内容の改善に活かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、理事会のもとで各校ごとの委員会が設置され、(添付教育課程編成委員会規程参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保する。また、学校運営においては、教員組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を充分に活かし、実績的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営する。

具体的には次の流れで教育課程を作成する。

教務部が学生の学習状況や学生の目指す業界の状況から原案を作成する。原案は第1回教育課程編成委員会にて吟味し、業界事情を鑑みた指摘事項を教務部に提示する。指摘事項を元に再度教務部にて調整を行い、第2回教育課程編成委員会にて確認を受ける。その後、校長の承認をもって最終決定となる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
羽佐間 圭介	一般社団法人 日本声優事業社協議会	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	①
小林 玄	ICHIZA株式会社	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	③
山本 敬史	学校法人 滋慶学園東京ダンス&アクターズ専門学校	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	
斎藤 幸江	学校法人 滋慶学園東京ダンス&アクターズ専門学校	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	
青山 美樹	学校法人 滋慶学園東京ダンス&アクターズ専門学校	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	
瀬戸 香織	学校法人 滋慶学園東京ダンス&アクターズ専門学校	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 10月および3月に実施

(開催日時(実績))

第1回 平成30年10月2日 14:30～16:00

第2回 平成31年3月15日 11:00～12:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

平成30年10月2日の委員会で頂いた意見に基づき、平成31年度カリキュラムを作成。平成31年3月15日の委員会にて報告し、承認を経て以下のように改定し、実施している。

【セルフプロデュースについて】

授業「キャリア教育」にて自身の特徴を活かしどう売り出していくのかを考える授業を行う。

【映像編集等について】

授業「映像アクティング」等にて音や映像のスキルを持ったダンサーやアクターの育成、特殊スキルの習得、バーチャルアーティストとのコラボレーション等を進めていく。

【次回以降検討事項】

業界と連携したメンタル面対応の模索

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界が求める人材を業界とともに育成する「产学連携教育」を基本方針とし、専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた人材の育成を行うため、企業から仕事を課題としていただく「企業プロジェクト」を通して実践的な授業を展開する他、現場の第一線で活躍するプロに兼任教員を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施・達成度評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

<プロジェクト概要>

【目的】

メディア業界において必ずと言っていいほど用いられるダンス。テレビ、CM、ミュージックビデオ、ライブイベント、映画など、活躍の場が違えば求めらるるスキルも違う。クライアントが求める要望に応えられるスキルと、ダンス以外に求めらるる業界マナーを習得する。

【プロジェクト内容】

その都度企業より現場案件をいただき、選出→オーディション→リハーサル→本番を繰り返す。

<連携内容>

【学校】

企業から学生が指摘された内容の補助を行い、学生が現場レベルについて行けるようサポートする

【企業】

オーディション案件の提供と、現場で必要なダンススキルと業界マナーを教示。特に業界における立ち振る舞いを業界の目線から指導いただく。

<評価方法>

【学校】

毎週の授業内の状況と本番での状況を比較し、学生の成長度を評価。

【企業】

実技より制作側が与えた課題のイメージと合致した表現が行えているか、ダンサーとしてメディア出演できるクオリティーを出せるかを評価。本番の現場にて態度(マナー)を評価。

実施期間：平成30年4月16日～5月15日

企業評価日：平成30年5月10日

学校評価日：平成30年5月15日

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
パフォーマンス	テレビ、CM、ミュージックビデオ、ライブイベント、映画など、メディアで取り上げられる技術と知識を学び実践に生かす。	株式会社Be there

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教職員規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めている。

昨年度においては、業界の現状と動向についての把握と具体的な必要とされるスキルを学ぶ研修、および中途退学者防止に向けた「学生一人ひとり」に対する対応策の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心とし、以下の要素が年間の授業内容に反映されるよう研修を行った。

① キャリア教育の視点

② カリキュラム改善、教育技法の改善

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「秋季講師研究会」(連携企業等: 株式会社TURE BASIC JAPAN)

期間: 9月17日 対象: 全教員

内容: 「現在のエンターテイメント業界が求める人材像」をテーマに必要なスキルとその活用法を学んだ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「春季講師研修会」(連携企業等: ダンススクウェア 劇団青年座)

期間: 3月17日 対象: 全教員

内容: キャリア教育支援を強化するため、現在の若者が抱く職業観と現実のギャップを考える研修を行った。

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「秋季講師研究会」(連携企業等: 株式会社TURE BASIC JAPAN)

期間: 9月18日 対象: 全教員

内容: 「現在のエンターテイメント業界が求める人材像」をテーマに必要なスキルとその活用法を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「春季講師研修会」(連携企業等: ダンススクウェア 劇団青年座)

期間: 3月18日 対象: 全教員

内容: 産学連携教育の重要性とその中の教員に求められる指導力についての研修を行う。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者並びに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じ、学校運営の改善に生かす事を方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム
(3)教育活動	目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格・免許取得の指導体制 教員・教員組織
(4)学修成果	就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等 学外実習、インターンシップ等 防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動 入学選考 学納金
(8)財務	財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献 ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3)学校関係者評価結果の活用状況

職業人教育を通じて社会に貢献できるよう、健全な経営基盤を持つ学校運営を目指す。そのために、学校評価委員会の委員からの意見を踏まえて、教育活動・環境の充実や学生支援の強化などの改善をしている。

具体的には、教育理念・目的・育成人材において、「国際教育」の更なる向上に努めて欲しいとの要望を受け、海外実学研修の内容見直しを行った。

また教育活動や学生支援においては、時代に合った幅広い人材育成を望むとの要望を受け、カリキュラムの拡充を行い、SNSなど新しい環境に耐えうるよう工夫を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
岩崎 浩太郎	株式会社 プランチャイム	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	卒業生代表
小松崎 直恵	ダンス＆アクターズ科1年生 保護者	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	保護者代表
菅野 英雄	渋谷宮益商店街振興組合	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	地域関係者
羽佐間 圭介	一般社団法人 日本声優事業社協議会	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	業界関係者
南山 光徳	ダンススクエア	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	業界関係者
山中 賢一	株式会社 手力プロダクション	2019/4/1～2021/3/31 (任期2年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public\\_info/index.html](https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public_info/index.html)

公表時期:令和1年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報公開の他、学校主催の合同企業説明会や卒業・進級制作展などのイベント時での説明会、卒業生の就職先やインターンシップ等受け入れ先への直接訪問によって情報提供を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要 沿革 建学の理念 学校安全関連
(2)各学科等の教育	受入方針 定員 カリキュラム 卒業判定基準 卒業と同時に取得する称号
(3)教職員	教職員数 教員の業績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み 産学連携教育
(5)様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介 海外実習研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止への取り組み 健康管理
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧 奨学金・教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生支援 留学生の受入状況 外国の学校等との交流状況
(11)その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public\\_info/index.html](https://www.da-tokyo.ac.jp/school/public_info/index.html)

## 授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ダンス＆アクターズ科(昼間部一))												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技			
○		キャリア教育1	社会人基礎知識、ビジネスマナー、就職活動アドバイス、様々なイベントの準備、企業の方によるセミナー等を実施する。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		キャリア教育2	実践的なビジネスマナーを身に付け、様々なイベントへの参加、企業の方によるセミナー等を主体的に就職活動が行えるよう実施する。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		キャリア教育3	社会人基礎力を具体的に発揮し、主体的に就職活動や様々なイベントへの参加、企業の方によるセミナー等を実施する。	2	30	2	○		○	○	○	○
○		キャリア教育4	社会に出るまでの基本的なマナーの定着、2年間の振り返りを行い、自己を見つめ直すPDCAを学ぶ。	2	30	2	○		○	○	○	○
○		舞踊舞台史 1	エンターテイメントの歴史と舞台の歴史を通して知識を養い聞く力を育てる。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		舞踊舞台史 2	エンターテイメントの歴史と舞台の歴史を通して知識を養い聞く力を育てる。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		英会話	英語に慣れ親しみ、日常会話が出来るようになる。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		韓国語	韓国語に慣れ親しみ、日常会話が出来るようになる。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		IT	社会人として必要なPCスキルを学びセルフプロデュース力を取得する。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		JAZZA-1	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		JAZZA-2	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		JAZZB-1	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		JAZZB-2	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2	○		○	○	○	○
○		JAZZC-1	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2	○		○	○	○	○

	○	JAZZC-2	ジャズダンスから身体能力を高め、リズム感と表現力を養う。しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエA-1	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエA-2	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエB-1	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエB-2	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエC-1	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	バレエC-2	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP A-1	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP A-2	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP B-1	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP B-2	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP C-1	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP C-2	リズム感を養い、様々な音楽のグルーヴを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	1	30	2		○	○		○
	○	Freestyle A-1	従来きまつた枠の中でしか使われていない技術やステップをMIXし、自由な発想と共に、そのスタイルを生かす技術、各ジャンルでの高いスキルを習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	Freestyle A-2	従来きまつた枠の中でしか使われていない技術やステップをMIXし、自由な発想と共に、そのスタイルを生かす技術、各ジャンルでの高いスキルを習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	Freestyle B-1	従来きまつた枠の中でしか使われていない技術やステップをMIXし、自由な発想と共に、そのスタイルを生かす技術、各ジャンルでの高いスキルを習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	Freestyle B-2	従来きまつた枠の中でしか使われていない技術やステップをMIXし、自由な発想と共に、そのスタイルを生かす技術、各ジャンルでの高いスキルを習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	コンテンポラリー1	ダンスの基礎を通して、創造性を養い豊かな感性を身につける。独自性ある表現を身につける。	1	30	2		○	○		○

	○	コンテンポラリー2	ダンスの基礎を通し、創造性を養い豊かな感性を身につける。独自性ある表現を身につける。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパークA-1	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパークA-2	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパークB-1	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパークB-2	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパーク C-1	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	テーマパーク C-2	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	JAZZ HIPHOP A-1	JAZZダンスを通して、ダンスの基礎を身に付ける。	1	30	2		○	○		○
	○	JAZZ HIPHOP A-2	JAZZダンスを通して、ダンスの基礎を身に付ける。	1	30	2		○	○		○
	○	JAZZ HIPHOP B-1	JAZZダンスを通して、ダンスの基礎を身に付ける。	1	30	2		○	○		○
	○	JAZZ HIPHOP B-2	JAZZダンスを通して、ダンスの基礎を身に付ける。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォーカルダンス1	歌いながらも安定した発声を維持し正しく表現できる。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォーカルダンス2	歌いながらも安定した発声を維持し正しく表現できる。	1	30	2		○	○		○
	○	TAP1	エンターテイメント業界に必要なタップの基礎を学び、リズム感を養いジャンルの幅を広げていく。	1	30	2		○	○		○
	○	TAP2	エンターテイメント業界に必要なタップの基礎を学び、リズム感を養いジャンルの幅を広げていく。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング A-1	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング A-2	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング B-1	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○

	○	ヴォイストレーニング B-2	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング C-1	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング C-2	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング D-1	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング D-2	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング E-1	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング E-2	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	1	30	2		○	○		○
	○	Body Fundamental1	身体の仕組みを知り、怪我の予防や、した後のケアなどを学び、長期でダンサーとして活躍できる身体のノウハウを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	Body Fundamental2	身体の仕組みを知り、怪我の予防や、した後のケアなどを学び、長期でダンサーとして活躍できる身体のノウハウを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	クリエイション1（ダンス）	チーム制作を通して、コミュニケーション能力を高め、創造力を育み豊かな感性を養う。	1	40	4		○	○		○
	○	クリエイション2（ダンス）	チーム制作を通して、コミュニケーション能力を高め、創造力を育み豊かな感性を養う。	1	40	4		○	○		○
	○	アクロバット1	アクロバットに必要な動きの基礎を身につけ、ダンスとアクロバットを融合してジャンルの幅を広げる。	1	30	2		○	○		○
	○	アクロバット2	アクロバットに必要な動きの基礎を身につけ、ダンスとアクロバットを融合してジャンルの幅を広げる。	1	30	2		○	○		○
	○	K-POP1	韓国のアーティストに求められる表現の豊かさを学び、韓国文化にも触れる。	1	30	2		○	○		○
	○	K-POP2	韓国のアーティストに求められる表現の豊かさを学び、韓国文化にも触れる。	1	30	2		○	○		○
	○	BREAKIN1	身体の各部位の感覚を養い、技のテクニックを学ぶ。それに必要な筋力を身につける	1	30	2		○	○		○
	○	BREAKIN2	身体の各部位の感覚を養い、技のテクニックを学ぶ。それに必要な筋力を身につける	1	30	2		○	○		○
	○	POP1	身体の各部位の感覚を養い、身体作りと筋力を身につける。	1	30	2		○	○		○

	○	POP2	身体の各部位の感覚を養い、身体作りと筋力を身につける。	1	30	2		○	○		○
	○	HOUSE1	ハウス独特のステップの基礎を学び、リズム感を養い、ステップテクニックの向上、技を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	HOUSE2	ハウス独特のステップの基礎を学び、リズム感を養い、ステップテクニックの向上、技を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	ミュージックセオリー1	音楽理論を学び、コードを理解し、楽譜が読めるようになる知識を取得する。	1	30	2		○	○		○
	○	ミュージックセオリー2	音楽理論を学び、コードを理解し、楽譜が読めるようになる知識を取得する。	1	30	2		○	○		○
	○	イヤートレーニング1	音階を理解し、音の旋律を学ぶ。リズムなどの拍子もとれるようになる。	1	30	2		○	○		○
	○	イヤートレーニング2	音階を理解し、音の旋律を学ぶ。リズムなどの拍子もとれるようになる。	1	30	2		○	○		○
	○	シアターJAZZ 1	演じながら踊るジャズを学び、舞台上の表現の幅を広げる	1	30	2		○	○		○
	○	シアターJAZZ 2	演じながら踊るジャズを学び、舞台上の表現の幅を広げる	1	30	2		○	○		○
	○	パントマイム 1	身体による無対象演技を学ぶことでノンバーバルな表現ができるようになる。	1	30	2		○	○		○
	○	パントマイム 2	身体による無対象演技を学ぶことでノンバーバルな表現ができるようになる。	1	30	2		○	○		○
	○	演劇ワークショップ A-1	演技の基礎を学ぶ。絶えず観客の前で演技を披露し、クリティックを受けることで心身のスキルアップを図る。	1	60	4		○	○		○
	○	演劇ワークショップ A-2	演技の基礎を学ぶ。絶えず観客の前で演技を披露し、クリティックを受けることで心身のスキルアップを図る。	1	60	4		○	○		○
	○	演劇ワークショップ B-1	演技の基礎を学ぶ。絶えず観客の前で演技を披露し、クリティックを受けることで心身のスキルアップを図る。	1	60	4		○	○		○
	○	演劇ワークショップ B-2	演技の基礎を学ぶ。絶えず観客の前で演技を披露し、クリティックを受けることで心身のスキルアップを図る。	1	60	4		○	○		○
	○	アクティング基礎 1	演技の基礎となるドラマワークショップ。俳優として他者を信頼し、舞台上でコミュニケーションする楽しさと難しさを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	アクティング基礎 2	演技の基礎となるドラマワークショップ。俳優として他者を信頼し、舞台上でコミュニケーションする楽しさと難しさを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	発声滑舌 1	正しい発声、アクセントでセリフを発するために、呼吸・発声・アクセントを学ぶ。	1	30	2		○	○		○

	○	発声滑舌 2	正しい発声、アクセントでセリフを発するために、呼吸・発声・アクセントを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	映像アクティング 1	映像演技。実際にカメラを回し、演技を録画してチェックを繰り返す。カメラ前での表現方法を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	映像アクティング 2	映像演技。実際にカメラを回し、演技を録画してチェックを繰り返す。カメラ前での表現方法を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	モデルゼミ 1	モデルとしての人間性の在り方の部分から、ポージング・ウォーキングの技術までを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	モデルゼミ 2	モデルとしての人間性の在り方の部分から、ポージング・ウォーキングの技術までを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	声優基礎 1	声優として必要なスキルを人間性・演技の深化・キャラクターリゼーションなど様々な角度から学ぶ、声優入門編。	1	30	2		○	○		○
	○	声優基礎 2	声優として必要なスキルを人間性・演技の深化・キャラクターリゼーションなど様々な角度から学ぶ、声優入門編。	1	30	2		○	○		○
	○	ナレーション 1	情報を情感豊かに伝えるナレーションの基礎を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	ナレーション 2	情報を情感豊かに伝えるナレーションの基礎を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	発声・ボディートレーニング 1	正しい発声は正しい身体から。体操・呼吸・発声を通し、表現する身体を手にいれる。	1	30	2		○	○		○
	○	発声・ボディートレーニング 2	正しい発声は正しい身体から。体操・呼吸・発声を通し、表現する身体を手にいれる。	1	30	2		○	○		○
	○	殺陣 1	殺陣(アクション)の基礎を学ぶ。正しい受け身の取り方・マット運動から、パンチ・キックなどの基礎を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	殺陣 2	殺陣(アクション)の基礎を学ぶ。正しい受け身の取り方・マット運動から、パンチ・キックなどの基礎を習得する。	1	30	2		○	○		○
	○	殺陣ゼミ 1	殺陣(アクション)の基礎を学ぶ。正しい受け身の取り方・マット運動から、パンチ・キックなどの基礎を習得する。カメラワークを意識したアクションを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	殺陣ゼミ 2	殺陣(アクション)の基礎を学ぶ。正しい受け身の取り方・マット運動から、パンチ・キックなどの基礎を習得する。カメラワークを意識したアクションを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	ボイスサンプル制作 1	声優のオーディションで必須となるボイスサンプルの制作を基礎から学び、自分自身でボイスサンプルを制作できるようになるまで学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	ボイスサンプル制作 2	声優のオーディションで必須となるボイスサンプルの制作を基礎から学び、自分自身でボイスサンプルを制作できるようになるまで学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	フリートーク 1	話芸の成り立ちを知り、起承転結のあるトークが自然とできるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	1	30	2		○	○		○

	○	フリートーク 2	話芸の成り立ちを知り、起承転結のあるトークが自然とできるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	オーディション対策	オーディション時に必須となる自己PRの発展形を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	TOKYO FM プロジェクト 1	ラジオの番組制作から、台本の作成、選曲を基礎から学ぶ。実際にオファーを受け番組を制作・収録し、納品するまでの流れをフローで学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	TOKYO FM プロジェクト 2	ラジオの番組制作から、台本の作成、選曲を基礎から学ぶ。実際にオファーを受け番組を制作・収録し、納品するまでの流れをフローで学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	紙芝居 1	声優として、目の前のことなどを引きつける演技を学ぶ。ナレーション、キャラクターの使い分けの基礎から、実際の口演までをフローで学ぶ。	1	30	2		○	○	○	
	○	紙芝居 2	声優として、目の前のことなどを引きつける演技を学ぶ。ナレーション、キャラクターの使い分けの基礎から、実際の口演までをフローで学ぶ。	1	30	2		○	○	○	
	○	J-POPゼミ 1	J-Popの特徴を捉え、現場での対応力を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	J-POPゼミ 2	J-Popの特徴を捉え、現場での対応力を養う。	1	30	2		○	○		○
	○	ミュージカルゼミ 1	ミュージカルにおけるアンサンブルの基礎を学ぶ。	1	30	2		○		○	
	○	ミュージカルゼミ 2	ミュージカルにおけるアンサンブルの基礎を学ぶ。	1	30	2		○		○	
	○	楽器演奏 1	楽器を用いて、表現する方法を学ぶ。	1	30	2		○			○
	○	楽器演奏 2	楽器を用いて、表現する方法を学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	ソルフェージュ 1	リズム、音程の基礎を学び、実際に歌うことと繋げるトレーニングを行う。	1	30	2		○			○
	○	ソルフェージュ 2	リズム、音程の基礎を学び、実際に歌うことと繋げるトレーニングを行う。	1	30	2		○			○
	○	ネイル検定 1	ネイル検定に合格する技術を学ぶ。(ポリッシュ)	1	60	4		○			○
	○	ネイル検定 2	ネイル検定に合格する技術を学ぶ。(ポリッシュ)	1	60	4		○	○		○
	○	基礎メイク 1	アーティストメイクの基礎を学ぶ。ヘアメイクとしての心構えを学ぶ。	1	30	2		○	○		○
	○	基礎メイク 2	アーティストメイクの基礎を学ぶ。ヘアメイクとしての心構えを学ぶ。	1	30	2		○	○		○

	○	ジャズA-3	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	ジャズA-4	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	ジャズB-3	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	ジャズB-4	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	ジャズC-3	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	ジャズC-4	しなやかな筋肉と柔軟性を養い、ジャズダンスに必要なテクニックを学ぶ。軸を取れるようになり、稼動範囲を広げ表現力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	バレエA-3	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	30	2		○	○		○
	○	バレエA-4	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	30	2		○	○		○
	○	バレエB-3	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	30	2		○	○		○
	○	バレエB-4	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	30	2		○	○		○
	○	バレエC-3	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	60	4		○	○		○
	○	バレエC-4	身体の柔軟性、しなやかさを養い、それと同時にバレエテクニックを習得し、パフォーマンスをする時の居方、立ち方を学ぶ。指先から頭まで意識をし続け、高い集中力につける。ダンスの基本となる身体作り、考え方を習得する。	2	60	4		○	○		○
	○	HIPHOP A-3	1990年代~2000年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP A-4	1990年代~2001年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP B-3	1990年代~2002年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP B-4	1990年代~2003年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP C-3	1990年代~2004年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○
	○	HIPHOP C-4	1990年代~2005年代のスタイル。リズム感を養い、様々な音楽のグループを感じ表現できる動きを身につける。ストリートダンスに必要なテクニックの基礎を学びエンターテイメント力を高める。	2	30	2		○	○		○

	○	Freestyle A-3	従来きまつた枠の中しか使われていない技やステップをMIXし、自由な発想と共にその為のスタイライジングする技術、各ジャンルでの高いスキルを習得します。	2	30	2		○	○		○
	○	Freestyle A-4	従来きまつた枠の中しか使われていない技やステップをMIXし、自由な発想と共にその為のスタイライジングする技術、各ジャンルでの高いスキルを習得します。	2	30	2		○	○		○
	○	Freestyle B-3	従来きまつた枠の中しか使われていない技やステップをMIXし、自由な発想と共にその為のスタイライジングする技術、各ジャンルでの高いスキルを習得します。	2	30	2		○	○		○
	○	Freestyle B-4	従来きまつた枠の中しか使われていない技やステップをMIXし、自由な発想と共にその為のスタイライジングする技術、各ジャンルでの高いスキルを習得します。	2	30	2		○	○		○
	○	コンテンポラリー3	ダンスの基礎を通し、創造性を養い豊かな感性を身につける。独自性ある表現を身につける。	2	30	2		○	○		○
	○	コンテンポラリー4	ダンスの基礎を通し、創造性を養い豊かな感性を身につける。独自性ある表現を身につける。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークA-3	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークA-4	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークB-3	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークB-4	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークC-3	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	テーマパークC-4	バレエ、ジャズの基礎を学び、エンターテイメント性の高いダンス表現を習得する。手先、足先から表情まで、細部に渡る技術を養う。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング A-3	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング A-4	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング B-3	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング B-4	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング C-3	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○
	○	ヴォイストレーニング C-4	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○	○		○

	○	ヴォイストレーニング D-3	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○				○
	○	ヴォイストレーニング D-4	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○				○
	○	ヴォイストレーニング E-3	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○				○
	○	ヴォイストレーニング E-4	歌唱に絶対必要な呼吸法「複式呼吸」から、歌に必要な筋肉、身体の使い方の習得すると共に、音楽の基本知識を学び、響きと伸びのある声を作る。	2	30	2		○				○
	○	Heels 3	ショーダンスに必要なスキルを習得し、パフォーマンス力を身につけ、女性らしい動きを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	Heels 4	ショーダンスに必要なスキルを習得し、パフォーマンス力を身につけ、女性らしい動きを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	ジャズコンテ3	身体の全てを使い、曲やコンセプトに合わせた表現力を学び、音と身体がシンクロしていく技術を習得する。	2	30	2		○				○
	○	ジャズコンテ4	身体の全てを使い、曲やコンセプトに合わせた表現力を学び、音と身体がシンクロしていく技術を習得する。	2	30	2		○				○
	○	Body Fundamental 3	身体の仕組みを知り、怪我の予防や、した後のケアなどを学び、長期でダンサーとして活躍できる身体のノウハウを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	Body Fundamental 4	身体の仕組みを知り、怪我の予防や、した後のケアなどを学び、長期でダンサーとして活躍できる身体のノウハウを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	TAP3	エンターテイメント業界に必要なタップの基礎を学び、リズム感を養いジャンルの幅を広げていく。	2	30	2		○				○
	○	TAP4	エンターテイメント業界に必要なタップの基礎を学び、リズム感を養いジャンルの幅を広げていく。	2	30	2		○				○
	○	クリエイション3 (ダンス)	チーム制作を通して、コミュニケーション能力を高め、創造力を育み豊かな感性を養う。	2	60	4		○				○
	○	クリエイション4 (ダンス)	チーム制作を通して、コミュニケーション能力を高め、創造力を育み豊かな感性を養う。	2	60	4		○				○
	○	HOUSE 3	ハウス独特的のステップの基礎を学び、リズム感を養い、ステップテクニックの向上、技を習得する。	2	30	2		○				○
	○	HOUSE 4	ハウス独特的のステップの基礎を学び、リズム感を養い、ステップテクニックの向上、技を習得する。	2	30	2		○				○
	○	BREAKIN 3	身体の各部位の感覚を養い、技のテクニックを学ぶ。それに必要な筋力を身につける。	2	30	2		○				○
	○	BREAKIN 4	身体の各部位の感覚を養い、技のテクニックを学ぶ。それに必要な筋力を身につける。	2	30	2		○				○

	○	POP3	身体の各部位の感覚を養い、身体作りと筋力を身につける。	2	30	2		○				○
	○	POP4	身体の各部位の感覚を養い、身体作りと筋力を身につける。	2	30	2		○				○
	○	アクロバット3	アクロバットに必要な動きの基礎を身につけ、ダンスとアクロバットを融合してジャンルの幅を広げる。	2	30	2		○				○
	○	アクロバット4	アクロバットに必要な動きの基礎を身につけ、ダンスとアクロバットを融合してジャンルの幅を広げる。	2	30	2		○				○
	○	発声滑舌 3	正しい発声、アクセントでセリフを発するために、呼吸・発声・アクセントを学び、仕事ができるレベルに引き上げる。	2	30	2		○				○
	○	発声滑舌 4	正しい発声、アクセントでセリフを発するために、呼吸・発声・アクセントを学び、仕事ができるレベルに引き上げる。	2	30	2		○				○
	○	発声・ボディートレーニング 3	正しい発声は正しい身体から。体操・呼吸・発声を通し、表現する身体を手にいれる。指示がなくても自身で身体をコントロールできるようになる。	2	30	2		○				○
	○	発声・ボディートレーニング 4	正しい発声は正しい身体から。体操・呼吸・発声を通し、表現する身体を手にいれる。指示がなくても自身で身体をコントロールできるようになる。	2	30	2		○				○
	○	演劇ワークショップ 3	観客とのクリティックを通し、自身の演技を深化させる。演出家の指示を的確に読み取り、自分で演技プランを提示できるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	演劇ワークショップ 4	観客とのクリティックを通し、自身の演技を深化させる。演出家の指示を的確に読み取り、自分で演技プランを提示できるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	殺陣 3	木刀を使った立ち回り、銃を使ったアクションなどができるようになるためのスキルを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	殺陣 4	木刀を使った立ち回り、銃を使ったアクションなどができるようになるためのスキルを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	殺陣ゼミ 3	木刀を使った立ち回り、銃を使ったアクションなどができるようになるためのスキルを学ぶ。カメラワークを意識した演技ができるようになる。	2	30	2		○				○
	○	殺陣ゼミ 4	木刀を使った立ち回り、銃を使ったアクションなどができるようになるためのスキルを学ぶ。カメラワークを意識した演技ができるようになる。	2	30	2		○				○
	○	アクターキャリア教育	業界の第一線で活躍する講師を招き、卒業後のポジションを明確にするための講義を週替わりで行う。業界の常識を知り、業界で生き抜くための精神体力を養う。	2	30	2		○				○
	○	シアターJAZZ 3	演じながら踊るジャズを学び、舞台上の表現の幅をさらに広げる	2	30	2		○				○
	○	シアターJAZZ 4	演じながら踊るジャズを学び、舞台上の表現の幅をさらに広げる	2	30	2		○				○
	○	映像アクティング 3	カメラ前の演技を学び、卒業制作として映画製作を経験する。	2	60	4		○				○

	○	映像アクティング 4	カメラ前の演技を学び、卒業制作として映画製作を経験する。	2	60	4		○				○
	○	MA 1	演技、表現についての技術を基礎から応用までを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	MA 2	演技、表現についての技術を基礎から応用までを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	アニソンゼミ 1	アニメソングのパフォーマンスを、歌唱・衣裳選定・MCの観点から総合的に学び、セルフプロデュースできるアーティストになる。	2	60	4		○				○
	○	アニソンゼミ 2	アニメソングのパフォーマンスを、歌唱・衣裳選定・MCの観点から総合的に学び、セルフプロデュースできるアーティストになる。	2	60	4		○				○
	○	日本舞踊 1	和服の所作を学び、着物を着用する作品に対応できるスキルを得る。	2	30	2		○				○
	○	日本舞踊 2	和服の所作を学び、着物を着用する作品に対応できるスキルを得る。	2	30	2		○				○
	○	司会・アナウンス 1	MCのスキルを体験的に習得する。進行台本を自分で作成できるようになる。	2	30	2		○				○
	○	司会・アナウンス 2	MCのスキルを体験的に習得する。進行台本を自分で作成できるようになる。	2	30	2		○				○
	○	フリートーク 1	話芸の成り立ちを知り、起承転結のあるトークが自然とできるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	フリートーク 2	話芸の成り立ちを知り、起承転結のあるトークが自然とできるようになるためのスキルを体験的に学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	アクティング 1	現在の演劇シーンを切り取り、この時代に求められている俳優像を探求する。	2	60	4		○				○
	○	アクティング 2	現在の演劇シーンを切り取り、この時代に求められている俳優像を探求する。	2	60	4		○				○
	○	演技 1	新劇の流れをくむ演技技術を体験的に学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	演技 2	新劇の流れをくむ演技技術を体験的に学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	アフレコワークショップ 1	アニメ・洋画のアフレコを実践的に学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	アフレコワークショップ 2	アニメ・洋画のアフレコを実践的に学ぶ。	2	90	6		○				○
	○	オーディション対策 応用	オーディション時に必須となる自己PRの発展形を学ぶ。	2	30	2		○				○

	○	TOKYO FM プロジェクト 3	ラジオの番組制作から、台本の作成・選曲を基礎から学ぶ。実際にオファーを受け番組を制作・収録し、納品するまでの流れをフローで学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	TOKYO FM プロジェクト 4	ラジオの番組制作から、台本の作成・選曲を基礎から学ぶ。実際にオファーを受け番組を制作・収録し、納品するまでの流れをフローで学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	紙芝居 3	声優として、目の前のこどもを引きつける演技を学ぶ。ナレーション、キャラクターの使い分けの基礎から、実際の口演までをフローで学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	紙芝居 4	声優として、目の前のこどもを引きつける演技を学ぶ。ナレーション、キャラクターの使い分けの基礎から、実際の口演までをフローで学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	細川ゼミ 1	ヴォーカリストにおける、様々な発声とテクニックを身につける。	2	30	2		○				○
	○	細川ゼミ 2	ヴォーカリストにおける、様々な発声とテクニックを身につける。	2	30	2		○				○
	○	ロックアンサンブル 1	ROCKミュージックを通してアンサンブルを学び、実際にパフォーマンスを行う。	2	30	2		○				○
	○	ロックアンサンブル 2	ROCKミュージックを通してアンサンブルを学び、実際にパフォーマンスを行う。	2	30	2		○				○
	○	ファンクアンサンブル 1	FUNK,DISCOミュージックを通して、グルーヴすることを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	ファンクアンサンブル 2	FUNK,DISCOミュージックを通して、グルーヴすることを学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	ソウル＆ポップス 1	SOUL,POPSミュージックを通して、アンサンブル、音楽の歴史を学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	ソウル＆ポップス 2	SOUL,POPSミュージックを通して、アンサンブル、音楽の歴史を学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	J-POPゼミ 3	J-Popの特徴を捉え、現場での対応力を養う。	2	30	2		○				○
	○	J-POPゼミ 4	J-Popの特徴を捉え、現場での対応力を養う。	2	30	2		○				○
	○	ブロードウェイゼミ 1	ブロードウェイで公演されている様々な演目を学び、曲、歌、表現、全ての分野での一流の技術を学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	ブロードウェイゼミ 2	ブロードウェイで公演されている様々な演目を学び、曲、歌、表現、全ての分野での一流の技術を学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	楽器演奏 3	楽器を用いて、表現する方法を学ぶ。	2	30	2		○				○
	○	楽器演奏 4	楽器を用いて、表現する方法を学ぶ。	2	30	2		○				○

	○	ミュージカルゼミ 3	歌・ダンス・演技の3要素を組み合わせた基礎レッスンを積むことでミュージカルの基礎を習得する。	2	30	2		○				○
	○	ミュージカルゼミ 4	歌・ダンス・演技の3要素を組み合わせた基礎レッスンを積むことでミュージカルの基礎を習得する。	2	30	2		○				○
	○	ソルフェージュ 1	リズム、音程の基礎を学び、実際に歌うことと繋げるトレーニングを行う。	1	30	2		○				○
	○	ソルフェージュ 2	リズム、音程の基礎を学び、実際に歌うことと繋げるトレーニングを行う。	1	30	2		○				○
	○	スタジオヘアメイク 3	ヘアメイクの応用。より多くのスタイルのメイク技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	スタジオヘアメイク 4	ヘアメイクの応用。より多くのスタイルのメイク技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	オリジナルヘアアレンジ 3	ヘアメイクの応用。より多くのスタイルのヘアメイク技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	オリジナルヘアアレンジ 4	ヘアメイクの応用。より多くのスタイルのヘアメイク技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	メイクゼミ	ヘアメイクの現在を学び、仕事として通用する技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	メイクゼミ	ヘアメイクの現在を学び、仕事として通用する技術を習得する。	2	60	4		○				○
	○	着付け 3	着物の着付けの技術を学ぶ。着付けから小物の取り扱いまで学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	着付け 4	着物の着付けの技術を学ぶ。着付けから小物の取り扱いまで学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	ネイル検定 3	ネイル検定に合格する技術を学ぶ。(ジェル)	2	60	4		○				○
	○	ネイル検定 4	ネイル検定に合格する技術を学ぶ。(ジェル)	2	60	4		○				○
	○	舞台ヘアメイク	ステージ用のヘア・メイクを深く学ぶ。	2	60	4		○				○
	○	クリエイション(メイク)	ヘアメイクの作品作りを通して、自身のコンポジットを作成する。	2	60	4		○				○
	○	メイクアッププロジェクト 3	ヘアメイクの基礎から応用までを徹底的に学び、仕事に役立てる。	2	60	4		○				○
	○	メイクアッププロジェクト 4	ヘアメイクの基礎から応用までを徹底的に学び、仕事に役立てる。	2	60	4		○				○

	○	明日への扉(キャスト) (1)(2)	ミュージカル『明日への扉』にキャストとして参加。学内オーディション、学内稽古、外部ホール稽古、本番時のホールで、舞台人にとしのスキルとマインドを身につける。	-	615	15			○		
	○	明日への扉(ダンサー) (1)(2)	ミュージカル『明日への扉』にダンサーとして参加。学内オーディション、学内稽古、外部ホール稽古、本番時のホールで、舞台人にとしのスキルとマインドを身につける。	-	615	15			○		
	○	明日への扉(BIGBAND) (1)(2)	ミュージカル明日への扉にBigbandとして参加し、学内合奏、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	150	5			○		
	○	明日への扉(ゴスペル) (1)(2)	ミュージカル明日への扉にゴスペルアンサンブルとして参加し、学内RH、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	120	4			○		
	○	明日への扉 (会場アナウンス) (1)(2)	ミュージカル明日への扉に会場アナウンスとして参加し、学内RH、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	120	4			○		
	○	明日への扉(劇中バンド) (1)(2)	ミュージカル明日への扉にスタッフとして参加し、学内での稽古、外部ホール稽古、本番時のホールで、舞台におけるスキルを身につける。	-	90	3			○		
	○	明日への扉(スタッフ) (1)(2)	ミュージカル明日への扉にスタッフとして参加し、学内での稽古、外部ホール稽古、本番時のホールで、舞台におけるスキルを身につける。	-	150	5			○		
	○	進級制作	進級制作展に参加し、事前リハーサル、本番を通じて技術を身につける。	-	180	6			○		
	○	進級公演	1年間の集大成として、発声、滑舌、アクセント、演技を発表する舞台公演	-	180	6			○		
	○	卒業制作	卒業制作展に参加し、事前リハーサル、本番を通じて観客の求めのスキルを身につける。	-	180	6			○		
	○	卒業公演	2年間の集大成として、発声、滑舌、アクセント、演技を発表する舞台公演。	-	180	6			○		
	○	海外実学研修	海外での実践的な講義やプログラムを通して、国際的な視野を広げ異文化を吸収・理解する。	1	60	2			○		
	○	中間制作(1)	前期で学んだ発声、滑舌、歌、ダンス、演技を発表する舞台公演。	1	150	5			○		
	○	中間制作(2)	前期で学んだ発声、滑舌、歌、ダンス、演技を発表する舞台公演。	1	150	5			○		
	○	特別講義 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) (8)(9)(10)	業界からゲストを招く特別セミナー。	1 2	18	1	○				
	○	イベント出演 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) (8)(9)(10)	学内外におけるイベント出演。学内イベントはレポートの提出が必須。学外イベントはコンボジションノートの提出が必須。	1 2	36	1			○		
	○	現場実習 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) (8)(9)(10)	業界から依頼を受け撮影/収録(ドラマ・映画・PV・アフレコ・ヘアメイク)へ参加。現場を経験することでプロとしてスキル、マインドを身につける。	1 2	45	1			○		
	○	LIVE・舞台観賞 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) (8)(9)(10)	学内外のライブや舞台の鑑賞。	1 2	45	1			○		

○	業界研修 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7) (8)(9)(10)	インターンシップ生として現場に出向き、ビジネスマナーを身につける。	1・ 2	45	1		○				
○	合同企業説明会 (1)(2)(3)(4)	合同企業説明会に臨むために資料を作成し、自身をプレゼンテーションするスキルを身に付ける。	1・ 2	45	1		○				
○	デビュープロジェクト (1)(2)(3)(4)	特別講義や資料作成、アーティスト写真撮影を行い、デビューへ向けて準備。	1・ 2	45	1		○				
○	新人発掘プレゼンテーション (1)(2)(3)(4)	新人発掘に臨むための内容を考え、プレゼンテーションをする。	1・ 2	30	1		○				
○	レコーディング ヴォイスサンプルRec (1)(2)(3)(4)	歌や台詞のレコーディングを行う。デビュー活動の際のプレゼンツールとして使用できるように制作する。	1・ 2	45	1		○				
○	業界ゼミ (1)(2)(3)(4)	週4時間の業界セミナーを実施。それぞれの業界の特徴や必要となる人材を伝えてもらい、卒業後の進路に役立てる。	1・ 2	40	2		○				
○	インターナショナル プログラム(MIP・DIP) (1)(2)(3)(4)	Billboard Live等と提携し海外ゲストを招聘する特別ゼミにて、業界における英会話力を高める。	1・ 2	16	1		○				
○	各種イベント制作 (1)(2)(3)(4)	学内イベントへのスタッフ参加により視野を拡げ、現場力、コミュニケーションスキルを身に就ける。	1・ 2	15	1		○				
○	業界研究・職種研究 (1)(2)(3)(4)	業界についての研究・業界内で活動する職種への研究を通じて、業界知識を理解する	1・ 2	45	1		○				
○	他学科単位互換制度	他学科の科目を履修し、業界基礎力を向上させる。(Wメジャー科目を履修し、成績により認定する)	-	-	-						
合計			276科目		11920単位時間(671単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学期ごとに試験を行い、また最終学年の終わりには、卒業試験を行う。その授業科目的成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。ただし、演習、実習については演習、実習の成績によって修了を認定することができる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。